

記録ビデオ「辺野古の闘い」

どんな思いで、どんな状況の中で座り込んでいるのか！
座り込みの息吹が心に響き渡る

2004年4月以来座り込みは1年を超えた。辺野古漁港前のテントには延べ2万人を超える人びとが座り込み、海上では命がけの激しいせめぎ合いが連日続いている。現在に至るまで1本のボーリング掘削も許していないものの、この闘いはいつまで続くのか。海上、陸上での闘いを、何も報道しないマスコミに代わり現地から発信し続けるこの貴重なドキュメントを、1人でも多くの人にぜひ見ていただきたい！

その6 (58分) の 配布を開始しました。

2005年1月11日から4月27日まで

今、なぜ作業強行なのか、掟破りの夜間作業なのか。相次ぐ「見直し発言」が飛び交う中、辺野古の状況はますます熾烈さを増している。

2004年総集編 (70分) 配布中

その1からその5に記録された映像をまとめ、さらにウミンチュの海上阻止行動への参加を記録しています。

VHSビデオテープ

頒価(カンパ込み)：1~6巻 各1本 1000円

2004年総集編 1本 1200円/その1~その3は在庫がないため注文後作成しますので到着が多少遅れるときがあります。

郵送料：1本 210円/2本 290円/3~4本 340円/5~8本 450円/9本以上は要相談です。

支払い：郵便振替 00150-8-120796

加入者名：沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック
／振り込み確認後、発送します／通信欄に「辺野古の闘いの記録ビデオ第〇巻を〇本」と巻数・本数を必ず記入し、ビデオ代金と送料を併せて振り込みください。



バックナンバー

その1 (60分) 4月23日から6月10日

カメラは4月19日の防衛施設局の寝込みを襲うだまし討ち着工の企てを打ち返し、毅然と座り込む阻止行動の現場を克明に記録していく。

その2 (60分) 6月18日から7月27日

なぜ、自分はここに座り込んでいるのか。参加者たちの熱い思いが語られる。そして、ついに座り込みは100日目を迎えた。

その3 (50分) 8月3日から9月1日

起こるべきして起きた米軍ヘリ墜落事故。それを逆手に取ったボーリング調査の決定。緊急市民集会で普天間基地の即時返還と辺野古移設中止を訴える。辺野古はまさに決戦前夜だ。

その4 (55分) 9月7日から10月4日

ボーリング調査着手！私たちはこの美しい海に人殺しの軍事基地は造らせない。もし、基地ができたなら沖縄、日本の歴史は終わってしまう…。そして海でも熱い闘いがはじまった。

その5 (35分) 10月21日から11月22日

巨大な防衛施設局の船団に立ち向かうカヌー一隊。人びとの目の届かない海上では卑劣な暴力行為が横行する。ボーリング調査の名のもとに行われる海殺し、平和潰しの現場から緊急メッセージをこめて！

写真 上から、座り込み1周年集会／スパット台船を収容する大型台船／飛び込んで新たなヤグラの建設を止める／ヤグラの座り込みも強化された。

撮影・編集 沖縄平和ネットワーク

複製・配布 辺野古への海上基地建設・ボーリング調査を許さない実行委員会

問い合わせ 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック TEL090-3910-4140 メール hankach@jca.apc.org
市民のひろば TEL03-5275-5989

辺野古への海上基地建設・ボーリング調査を許さない！

辺野古の現状や支援運動について知りたい方は、当実行委員会のホームページからご覧下さい。
<http://www.jca.apc.org/HHK/NoNewBases/NNBJ.html>

辺野古への海上基地建設・ボーリング調査を許さない実行委員会